

# 訪れる多くの人に

## スムーズに用務が済ませられる工夫



公的施設などへ行ったとき、窓口や担当が分かりづらくて、迷った経験はありませんか。市役所では、来庁者が迷わずに用務先へ行けるよう、どのような取り組みをしているのでしょうか。案内表示板など設備については管財課に、総合案内については生活課に取材しました（担当は市民編集委員・三輪、岡村）。なお、市役所、市有施設に限らず、分かりにくい案内表示や迷った体験など、ご意見や感想を市民編集委員へお寄せください。

問い合わせは広報広聴課 89016642へ。

### 誰にも分かりやすい

### 案内表示を目指して

市役所には毎日千五百人ほどが訪れます。初めて来庁した人も迷わないように、案内表示の役割は重要です。

現在の市役所の建物は、昭和五十六年に建設されました。1階市民ロビーの壁や床は茶色で落ち着いた色調ですが、その反面、暗い感じで案内表示が見にくいという意見が寄せられていました。そこで、平成十二年、分かりやすい案内表示にするため、庁舎サイン検討委員会を発足させ、討議を重ねたそうです。まず、市役所自体の場所が分かりづらいことから、県庁前通りに案内表示を設置することから始めました。そして市役

所内部は、平成十四年にそれまでのグレーに黒字の案内表示から、緑地に白字の大きく見やすい現在の案内表示に変えました。さらに、今年三月には、エレベーターホールや総合案内横の表示も新しくしました。

また、市民の皆さんからの声を反映し、総合案内カウンター奥に授乳室を、1・2・12階の女子トイレにおむつ交換台を設置。ベビーカーも二台用意しました。駐車場が狭く、時間帯によっては大変込み合ったため、平成六年からは駐車場管理員を置き、来庁者の自動車を誘導し、スムーズに駐車ができるようになりました。